

- * 「わたしの喜びがあなたがたのうちにあり、あなたがたの喜びが満たされるためです。」（ヨハネ15：11）「わたしの喜び」すなわちイエスの喜びとは第一に、父なる神との関係が一つであること。父の喜びも子と一つであることである。主イエスが御父のご意志を完全に行われることによって「イエスの喜び」と「父の喜び」が一つとなる。「私はまことのぶどうの木であり、わたしの父は農夫です。」（ヨハネ15：1）「あなたがた（弟子たち）が多くの実を結び、わたしの弟子になることによって、私の父は栄光をお受けになるのです。」（ヨハネ15：8）主イエスは父の戒めやみ心に従って十字架の死までも受け入れられた。
- * もう一つの主イエスの喜びは、同じようにあなたがたもわたしと一つであることである、と言われる。「父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛しました。わたしの愛の中に留まりなさい。」（15：9）私たちがイエスの愛の中に留まるにはどうすればよいのか。それは、「もし、あなたがたがわたしの戒めを守るなら、あなたがたの愛に留まるのです。」（15：10）と言われるように、主イエスの戒めを守ることである。
- * それでは「私の戒め」とは何か。「戒め」の要約は、「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも愛し合うこと、これがわたしの戒めです。」（15：12）私たちはこの地上では他の人たちとの人間関係の中に生きている。互いに愛し合うことほど大切なことはない。私たちは互いに愛し合うことによって、主イエスの中に留まることができ、それが主イエスの喜びになり、私たちの喜びにもなるのである。
「いつも主にあって喜びなさい。」（ピリピ4：4）